越日友好協会からの動画説明文（原文のまま）

タイトル：友情に満ちた　越（ベトナム）- 日(日本)

2022 年　クインニョンシティーにて、第 3 回　越日友好協会主催の大会が盛大に行われた。
任期：2021 年～2026 年

この大会では新たに日本との関係を築いていくことを明確にした。
その中でも日本との文化交流を推し進め、日本の企業とベトナムの企業会への橋渡しを行うことを推し進めていくことを発現した。

ビンディン省の越日友好協会は 2005 年の早い段階に設立された協会であり、主に日本からの投資やベトナム企業との連携を呼びかけて、地元の発展に寄与してまいりました。
2012 年には、ビンディン省の越日友好協会は大阪府の堺日越友好協会との関係を強め、大阪府堺市と在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館とで投資促進会を執り行われた。
堺市で行われた投資促進会は 100 以上の日本企業が参加された。

1973 年 9 月 21 日にベトナムと日本の外交関係が樹立された。
日本はベトナムにとっての重要な戦略的パートナであり、日本は ODA 供与国第一の国、労働者の受け入れでは第二、投資＆観光客は第三、ビジネスでは第四の国である。

上記以外にもベトナムと日本の関係はビンディン省のトップも重要視し、2019 年 10 月 21 日には、大阪府 泉佐野市とベトナム社会主義共和国 ビンディン省との友好交流に関する覚書の調印式が行われた。

現在、ビンディン省には、統計では、19 の日本企業の投資案件がある。
投資金額は約 97,000,000USD

投資企業としては、水産加工関係、木材関係、石材関係、グリーンエネルギ関係、縫製関係、林業関係、農業関係など日本に留学した学生がふるさとの地元にもどり、地元の日系の企業で働いております。

日本の堺市日越友好協会とビンディン省の越日友好協会は関係を深め、日本より技術移転としてはマグロ漁業の近代化のための漁獲技術及び資機材の普及・実証事業この案件は、株式会社　加藤均総合事務所【大阪府】、山田実業株式会社【大阪府】が日本マグロ漁船に既に装備されている、ツナショッカーシステム（ツナショッカーを含むマグロの曳網漁法用の資機材）をベトナムに導入することにより、漁業方法と事後処理の稚拙さから失っている価値を付加し、ビンディン省の天然鮮魚マグロ漁業を近代化、高度化、ベトナム漁業発展への貢献を目指す。
これをベトナムの漁船に導入し、ベトナムの漁民にとって労働環境が改善されるような案件である。

それ以外にも文化交流としてはベトナム中部の高原で日本の桜を植える活動を通して、現在は日本から送られた 1500 本の桜が植えられています。